



第1回 関西・中部支部対抗水泳競技大会
監督者会議

2025年4月17日（木）19：00

監督者会議

大会実行委員長あいさつ

1



公益財団法人日本水泳連盟 学生委員会 関西支部

支部長 樋口 浩三

監督者会議

大会副実行委員長あいさつ

2



公益財団法人日本水泳連盟 学生委員会 中部支部

支部長 酒井 宏昌

監督者会議次第

本日の説明事項

3



1. 競技について	審判長	大橋 健弘
2. 会場図・選手動線について	審判長	大橋 健弘
3. 表彰・ベストタイム判定について	競技進行	田畑 直紀
4. 全体スケジュール	競技進行	田畑 直紀
5. プールでの練習について	(一社)滋賀県水泳連盟競技委員長	篠崎 健
6. 水泳場の使用について	(一社)滋賀県水泳連盟競技委員長	篠崎 健
7. その他注意事項	競技進行	田畑 直紀
8. 質疑応答		

1. 競技

① 適用規則，使用レーン

4



- 2025年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり，実施する。
- 予選は10レーン， B 決勝・決勝は 8 レーンで， タイムスケジュールどおりに行う。

1. 競技

② 決勝進出

5



- 以下の種目は申込者が24名以下のため、B決勝を実施しない。
女子 400m 個人メドレー、女子 200m バタフライ、女子 200m 背泳ぎ
- 決勝競技（B決勝・決勝）には、各支部上位8名ずつ16名が進出する。
 - ✓ 予選競技の結果各支部上位4名ずつ計8名が決勝へ進出する。
 - ✓ また、決勝への進出者8名を除く、各支部上位4名がB決勝へ進出する。（B決勝を行う種目に限る）
 - ✓ ただし、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- ※決勝競技への進出者は1校につき上位2名までとする。
同一参加校にて同記録で2名を超えた場合は、スイムオフを行う。
- 決勝競技（B決勝・決勝）への進出において、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
- 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選によって優先順位を決定する。補欠は、各支部2名ずつとする。
- リレー種目は各支部4チームの合計8チームで競技を行う。本大会への申込者の中からリレーチームを編成すること。
 - ※リレー種目については、競技に先立って各支部4チームの合計8チームでのオープン競技をおこなう。
オープン競技についても、本大会への申込者の中からリレーチームを編成すること

1. 競技

③ 招集，棄権・リレーオーダーの届出

6



- 招集は競技開始10分前から行う。補欠の選手も同様とする。
- 本人確認のため，招集所にはA Dカードを持参すること。
- 招集の際に水着の確認を行う。
その際，水着にプリントされたWorld Aquatics承認マークの読み取りをおこなう。
- 競技を棄権する場合は届出用紙に記入し、下記の時間までにリゾリューションデスクに届け出ること。
リレーオーダーの届出も同様とする。
 - ✓ 1日目（4月19日）
予選競技 9：00まで リレー競技 16：00まで
 - ✓ 2日目（4月20日）
予選競技 9：00まで リレー競技 14：00まで
- 時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料として個人種目は 3,000円、リレー種目は5,000円を、無断で棄権した場合は、さらに罰金 3,000円を徴収する。
- 原則として、B 決勝・決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内に、棄権料（3,000円）を添えて、支部の監督がリゾリューションデスクに届け出ること。
無断で棄権した場合、届け出用紙の提出が遅れた場合は、罰金3,000円を徴収する。

1. 競技

④ 選手紹介・退水など

7



第1回 関西・中部支部対抗水泳競技大会

- 競技成立後は、予選競技は次組スタート後、自レーンより退水すること。
決勝競技は折返監察員の指示によりプール横から退水すること。
ただし、リレー種目の第1泳者から第3泳者は、自分のレーンから退水すること。
- 計時バックアップは、半自動計時装置を使用する。
- 選手紹介は、予選は組のみの紹介、B決勝は各レーンで選手紹介、決勝は入場ゲート前で紹介を行う。
決勝に出場する選手は、氏名、所属名の通告を受けてから入場すること。

2. 会場図・選手動線

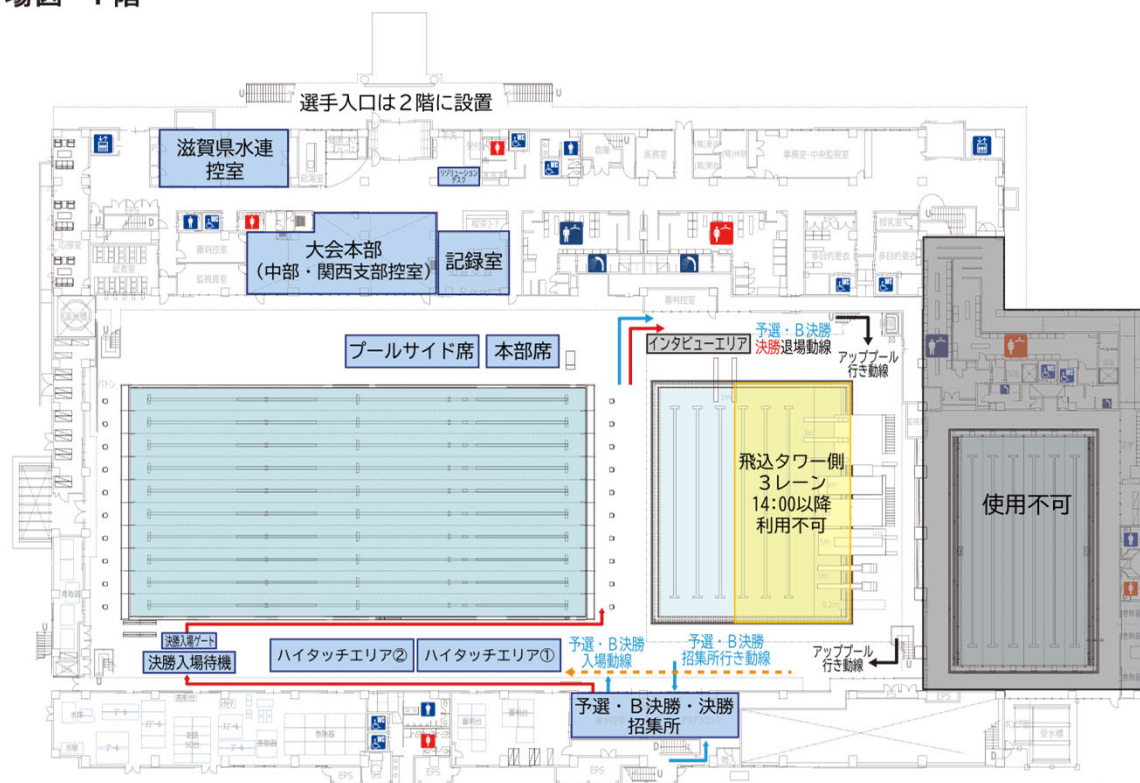
① 会場平面図（1階）

8



第1回 関西・中部支部対抗水泳競技大会

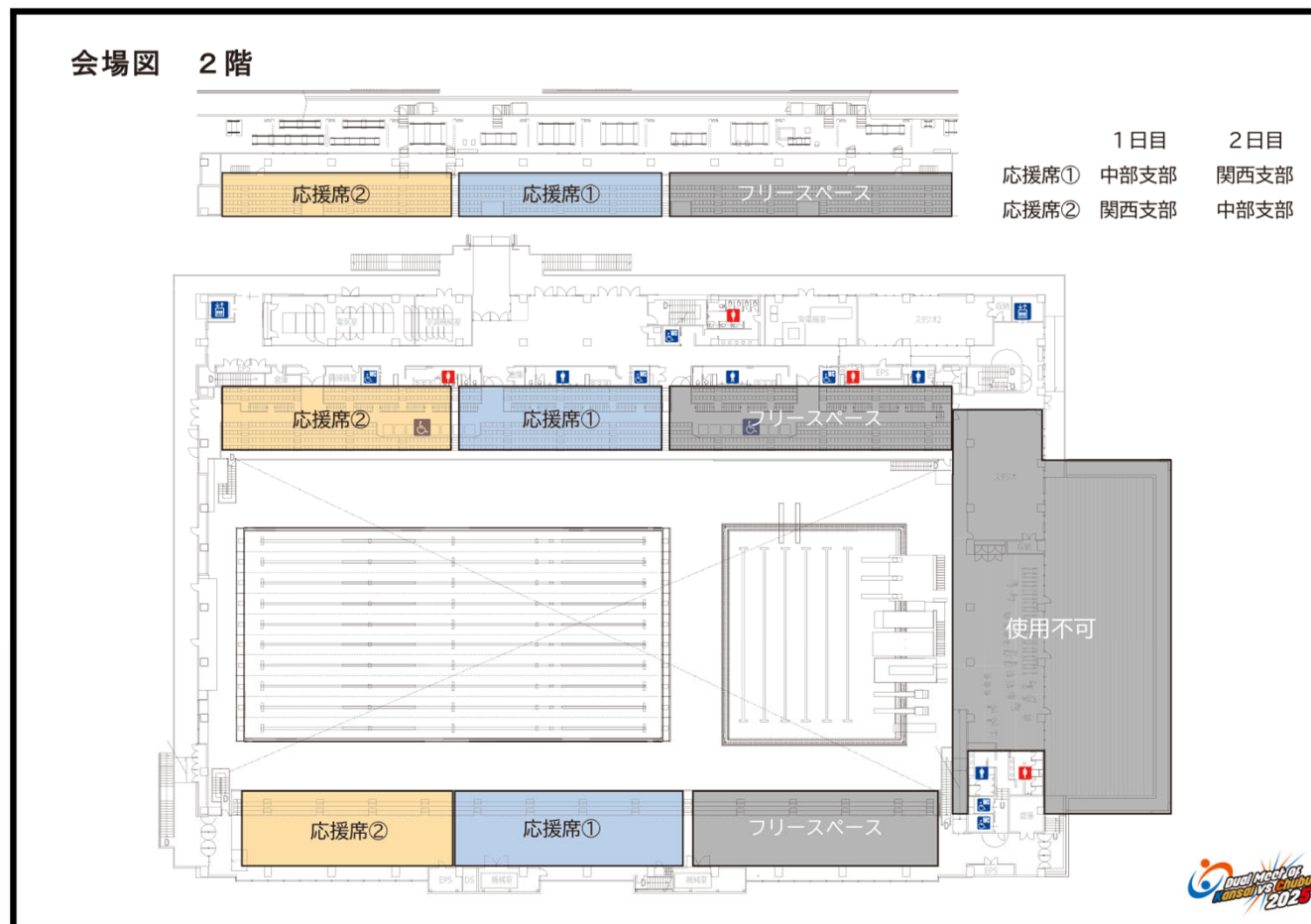
会場図 1階



2. 会場図・選手動線

② 会場平面図（2階）

9



3. 表彰・ベストタイム判定について

① 支部対抗得点

- 優勝支部に優勝杯を授与し、表彰する。
得点の付与方法は、要項および以下に記載の通りとする。

種目毎に、その成績により、下記の通り得点を与える。

個人種目	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
決 勝	20点	17点	16点	15点	14点	13点	12点	11点
B決勝	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

リレー種目	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
決 勝	40点	34点	32点	30点	28点	26点	24点	22点

- 個人・リレー種目における総合得点により、支部対抗の順位を決定する。
- ただし、総得点が同点の場合は、リレーによる得点の多い支部を上位とする。
- 上記の方法で決定しない場合は、同位とする。

10



3. 表彰・ベストタイム判定について

② 最優秀選手・優秀選手

11



- 最優秀選手・種目優秀選手に記念品を贈呈し、表彰する。
 - 最優秀選手：AQUAポイント最上位（男女各1名）
 - 優秀選手：最優秀選手を除いた，個人種目の各泳法におけるAQUAポイント最上位（男女各5名）
- ※同ポイントとなった場合は，出場した全ての種目のAQUAポイントの合計が大きい者を優先する

最優秀選手（男女各1名）



優秀選手（男女各5名）



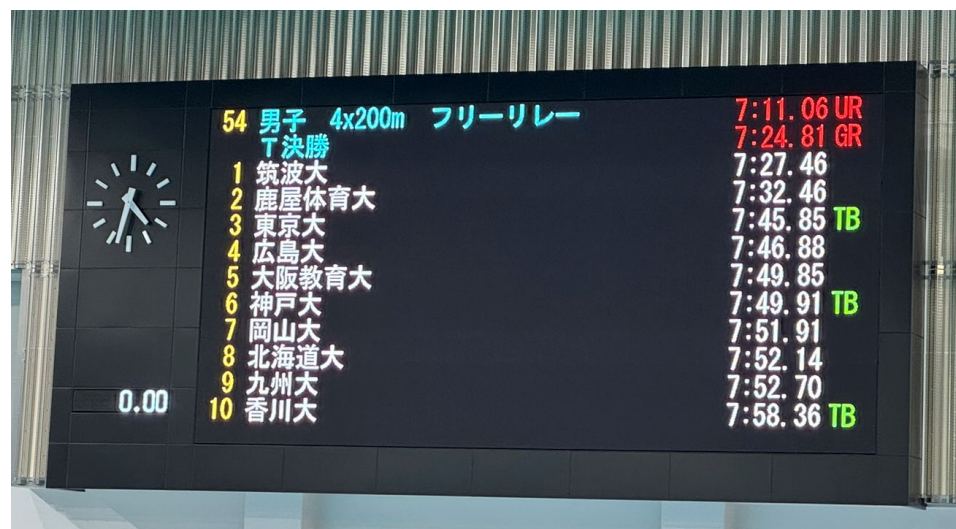
3. 表彰・ベストタイム判定について

③ ベストタイム判定

12



- 個人種目について、ベストタイムの判定をおこなう
※大会前日までに日本水泳連盟に正式報告された各選手のベストタイムを基準タイムとする
- 電光表示板での結果表示において、“PB” (Personal Best) を付してベストタイムの樹立を発表する
※画像はリレーのもののため“TB” (Team Best)
- ベストタイムの樹立判定に用いるベストタイムは即時公認方式とし、予選競技においてベストタイムを樹立した場合はその記録を以降の競技においてはベストタイムとして取り扱う



4. 全体スケジュール

13



- 両日とも8時に開門する。
- 開始式を1日目の決勝競技開始前（15：30～）に行う。
- 閉会式を2日目の決勝競技終了後に行う。

月 日	日程	開門	予選競技		決勝競技		閉門
			開始	終了	開始	終了	
4月19日(土)	1日目	8：00	10：00	14：35	15：45	18：30	19：30
4月20日(日)	2日目	8：00	9：30	13：25	14：15	18：00	18：45

5. プールでの練習について

① メインプール

14



- 水深は3 m、水温は27.5℃に設定する。
- 練習は、競技開始あるいは開始式開始15分前までとする。
 - ✓ 1日目
 - 朝の練習は 9：45 まで
 - 昼休みの練習は 15：15 まで
 - ✓ 2日目
 - 朝の練習は 9：15 まで
 - 昼休みの練習は 14：00 まで
- 昼休みの練習は、当日の決勝・リレー競技出場者のみとする。

5. プールでの練習について

① メインプール

15



- ・ 練習時のメインプールのレーン指定は次の通りとする。

✓ 1日目

- 0レーン : ダッシュレーン (ターン側からの一方通行とする)
- 1レーン : ペースレーン (クロールスイムのみでの使用可)
- 2～8レーン : フリーレーン
- 9レーン : ダッシュレーン (スタート側からの一方通行とする)

✓ 2日目

- 0レーン : ペースレーン (クロールスイムのみでの使用可)
- 1～7レーン : フリーレーン
- 8・9レーン : ダッシュレーン (スタート側からの一方通行とする)

※スタート側のダッシュレーンは、利用人数によりレーン数を拡大する。

- ・ フィン・パドル・コード類の持ち込みは禁止する。
- ・ 練習中はホイッスルを使用することができる。
- ・ 公式スタート練習は、全日程を通じて行わない。

5. プールでの練習について

② 飛込プール

16



- 両日14：00までは全面を使用できるが、14：00以降はメインプール側の3レーンのみが使用できる
※14：00からは他団体が練習に使用するため、飛込プール周辺の通行は注意すること
- 水深は3 m（～最深部5 m）。
- 飛込みは禁止する。
- フィン・パドル・コード類の持ち込みは禁止する。
- 全てのホイッスルの使用は禁止する。

6. 水泳場の使用について

① A D カード

17



- 本大会は、A Dカードによる入場制限を行う。
 - ✓ A Dカードを持っていない者は入場できない。
 - ✓ 4月19日（土）7：45より、2階入口にて選手受付を開始し、学校単位にA Dカードを配布する。
 - ✓ 観客用A Dカードは、大会当日に2階入口で発行する（発行手数料：1,500円/枚）。
また、観客用A Dカードでは、1階選手エリアに立ち入ることはできない。
※観客用A Dカードの保有者に向けた座席の割り当てはおこなわない。
支部に割り当てられたエリアもしくはフリーエリアを使用すること
- 館内にいるときは、常時A Dカードを首から下げておくこと。
- A Dカードを紛失した場合は、手数料3,000円を添えて再発行をリゾリューションデスクへ申請すること。

6. 水泳場の使用について

② 全体注意事項

18



- 会場内は全面「土足禁止」。
 - ✓ インシューズ（室内履き、靴底が白色のものに限る）とシューズケース（袋）を持参すること。
 - ✓ 入館時に必ずプール建物入口でインシューズに履き替えること。
- 会場内には、滑りやすい場所や、段差が分かりにくい場所があるため、足元に十分注意すること。
- ゴミは各自で管理し、必ず持ち帰ること。

6. 水泳場の使用について

③ 控え場所

19



- 0レーン側，9レーン側ともに，主催者にてスタンド席・控え場所を支部単位に割り当てる。
- 学校単位での割り振りは各支部の大学間で調整すること。
座席が不足する場合は，フリースペースを使用できる。
- 毛布やシートなど持ち帰りに不便な大きな荷物を置いて帰る場合は、スタンド席の通路に面した座席の足下に、学校単位にまとめておくこと。なお、置き荷物による場所取りは行わないこと。また、盗難について主催者は責任を負わない。

6. 水泳場の使用について

④ 禁止事項

20



- ・ 控え場所として指定された場所・範囲を超えて使用してはならない。
- ・ 控え場所に部旗を掲出してはならない。
※本競技会は支部対抗であることから、学校・部としての部旗の掲出は禁止する
- ・ 会場内へメディシンボールを持ち込んではならない。
- ・ 施設の一部（手摺など）に引っ掛けて、チューブ類を使用してはならない。
- ・ 招集を受ける選手以外が、招集所へ立ち入ってはならない。
- ・ 更衣室のロッカーを使用してはならない。置き荷物は忘れ物として扱う。
- ・ 更衣室内を控え場所としたり、飲食してはならない。
- ・ 会場内において、テープ類を使用してはならない。
- ・ プールサイドを移動する際にキャリーバッグを引きずってはならない

7. その他注意事項

① 来場・帰宅時の注意点

- 原則として、公共交通機関を利用して来場すること（JR草津駅西口より徒歩10分）。なお、近隣住民の方の迷惑とならないよう、草津駅とプール間の往来は、右図に指定した経路を使用すること。
- 自家用車はプール駐車場を使用できる（有料）。先着順とし、満車の場合は、近隣の有料駐車場を利用すること（主催者では手配しない）。
- 道路上での乗降および路上駐車は絶対にしないこと。送迎の車およびタクシーの乗降は全て、プール駐車場内の指定場所で行うこと。
- 大型バスにて来場する場合は、プール駐車場内の指定場所で降車すること。

21



7. その他注意事項

② その他

22



- 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- 競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- マネージャーミーティングはおこなわない。各チーム注意事項を参加者へ伝達の上、順守すること。
- 会場内・アリーナ内では必ず、所属校のユニフォームを着用すること。高校名・スイミング名等の入った物の使用は固く禁ずる。なお、本競技会においては、参加者が登録した学生委員会中部支部もしくは関西支部の加盟校の名称・ロゴマークは「競泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程」に定めるエントリーした所属の名称・マークとして取り扱う。
- インターネット配信は行わない。
- 公式掲示板は設置しない。競技結果は以下の公式サイトで確認することができる。
 - ✓ 日本水泳連盟公認サイト「Results of Japan Swimming」 (<https://result.swim.or.jp/>)
 - ✓ 関西・中部支部対抗戦公式サイト (<https://results.swim-kansai.com/DualMeet/2025/index.html>)
- プログラム、決勝スタートリストは上記、大会ホームページに掲載する（紙媒体の販売は行わない）。
- 本大会は、抗議料を現金 5 万円とする。

7. その他注意事項

② その他

23



- ・ 混合 4x100m フリーリレー、混合 4x100m メドレーリレーについては、学生記録が設定されていないため、以下の参考記録を設定し、これをしのぐ記録または同記録が樹立されたときは、学生記録とする

混合 4x100m フリーリレー : 3:32.49 JPN (須田 悠介・渡邊・山本・久保田)
FISUワールドユニバーシティゲームズ (2021/成都)
※現時点で確認ができた学生の最高記録

混合 4x100m メドレーリレー : 3:50.81 JPN (竹原 秀一・岡留・長谷川・伊東)
第9回ジュニアパンパシフィック選手権 (2022/ハワイ)
※高校生の最高記録が上回っているため、これを採用する

8. 質疑応答

24



- 質問のある方は、「挙手」ボタンにてお知らせください。
- 主催者より指名されてからマイクをOnにして、学校名と氏名に続けて質問を開始してください。
- 全ての質問を終えられた後、「挙手」ボタンを取り下げてください。